



## レスパスビジョン、Baselight 導入へ

### コマーシャルと映画のカラーグレーディング・ワークフローを加速

レスパスビジョン株式会社（本社：東京都渋谷区、鈴木仁行代表取締役）は、FilmLight の Baselight TWO と FLUX Store を導入することを発表した。11月の稼働に向けて着々と準備を進めている。

Baselight TWO は、FilmLight が NAB 2016 で発表した Version 5.0 ソフトウェアを搭載した最新モデルで、3 式のコンピューティング用 GPU を搭載し、4K モニタリングが可能なグレーディング・システムで、世界中のハイエンド・ポストプロダクションで、映画やコマーシャルの制作に用いられている。今回、Baselight TWO とともに FLUX Store も導入し、社内の他のシステムとの間を 40 ギガビット・イーサネットで接続し、高速なデータフローも実現する。IBC 2017 で正式にリリースとなった Version 5.0 を搭載した、日本で最初の Baselight となる。

同社システム部の久保江陽介氏は、「ハイエンドの世界では標準機と言われている Baselight ですから、その潜在能力に期待しています。弊社には、それを引き出す技術と環境が揃っていると自負しています」と話す。レスパスビジョンには、すでに、Rio、Lustre、Filmmaster Nucoda、DaVinci Resolve、Mistika といったグレーディング・システムが揃っており、Baselight の導入が多くのクライアントからも期待されていた。

今回の導入において機種選択を主導した Flame アーティストでカラリストの長島正弘氏は「Baselight は、他のグレーディング・システムに比べ、カラーコレクションの根幹部分が進化しています。V5.0 でオートマチックに計算式でカラースペース変換ができる新しいカラーマネージメントシステムが搭載され、5つの帯域でプライマリーがコントロールできる Base Grade が追加されました。また、撮影からポストプロへの連携ができる Prelight On-Set などにより総合的にワークフローを強化できることに優位性を感じ、導入を決めました。CM 業界で Baselight の名前が浸透することを信じています」という。

代表取締役の鈴木仁行氏も「FilmLight 本社の CEO に何度も足を運んでもらって、最初に検討を始めてから 5 年の月日が経ちました。私自身は前から最も優れたグレーディング・システムという認識があったのですが、やっと機が熟したという実感です」と付け加える。

9 月中にシステムを導入して、10 月をトレーニング期間とし、同社の創立 30 周年の記念日となる 11 月 2 日のオープンを予定している。

了